



年頭のご挨拶

秋川農業協同組合

代表理事組合長

坂本 勇

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中はJAあきがわの各事業に対し、厳しい経済環境のなか格別なるご支援ご協力を賜りましたこと改めて厚く御礼申し上げます。

昨年の台風19号にともなう被害にあわれた皆さまには心よりお見舞い申し上げます。管内では土砂崩れや河川の氾濫、道路の崩落など多数の被害がありました。降雨量の増加により、管内農業においても農産物の生育に影響が出ています。また、消費税の増税が始まり、家計の負担が更に増す年となりました。

このようななか、組合員や地域住民に必要とされるJAとなるべく、自己改革「未来へ続く東京農業の確立」と地域貢献活動に役職員一同鋭意取り組んでまいりました。

営農支援事業として農作業受託支援を行った他、農機具出張修理や檜原村やすらぎの里で無料点検を実施し、農作業事故の未然防止に取り組みました。各経済センター・直売所では感謝祭や収穫祭で組合員カードのポイント5倍付与、組合員特別価格商品を販売して販売力強化に努めました。国はプラスチック製レジ袋の有料化を法令で義務化する考えを示しました。それに先立ち、環境保全の役割を果たし、社会的評価の向上を図り、8月からレジ袋の無料配布を取りやめ、JA名入り特製コットンエコバッグの販売を始めました。鳥獣害対策として簡易電気柵設置費用や生分解性マルチの購入費助成、廃棄農薬用資材や有効期限切れ農薬の回収など、環境に配慮した営農への取り組みを進めました。

地域コミュニティ事業では、女性部主催の盆踊りやバザーなどで、組合員や地域住民と交流し、地域活性化に尽力しました。親子農業体験「あぐりスクール」は今年度から秋川ファーマーズセンターの市民農園へ場所を移し、青壮年部員が指導し、参加者に大変好評でした。地域農業の大切さを知ってもらうため、各金融店舗は管内の園児や児童への農業体験に協力し、各経済センター・直売所は児童や生徒の社会科見学や職場体験学習を受け入れました。また、JA管内や都心部の学校給食へ安全・安心な農産物を提供しました。

自己改革に関する評価を組合員より伺いする全組合員アンケートにおきましては、お忙しいなかご協力いただき誠にありがとうございます。政府は令和3年3月まで、自己改革の実施状況等を調査することとしており、組合員からいただいた評価が、今後政府が行う准組合員の事業利用規制の在り方の検討に向けても重要となります。

今後とも皆さまのご意見を拝聴しながら、引き続き自己改革に取り組み、積極的な事業展開と地域に密着したJAを目指してまいります。

結びに、組合員各位並びに皆様様のますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

賀正

代表理事組合長

坂本

勇

代表理事専務

谷澤

俊明

代表理事専務

橋本

和之

代表理事専務

田中

利明

理事 宇田

俊史

理事 山本

典宏

理事 鈴木

留次郎

理事 青木

夕力子

理事 森

律子

理事 御手洗

寿雄

理事 野口

隆昭

理事 山崎

健

理事 甲野

富和

理事 田嶋

信三

理事 栗原

十一

理事 木住

盛男

理事 馬場

敏明

理事 田中

真一

代表監事 志村

義久

常勤監事 吉村

太一

監事 嶋崎

三雄

監事 高橋

幸治